

各事業での様子



東京都福祉局

東京都盲ろう者支援センター

東京都盲ろう者支援センターは、
視覚と聴覚の両方に障害を持つ盲ろう児・者が
安心して日常生活を送れるよう
さまざまなサービスを提供しています。



東京都福祉局

東京都盲ろう者支援センター

〒162-0832

東京都新宿区岩戸町4番地 87ビルディング岩戸町2階

TEL: 03-6228-1282 FAX: 03-6228-1283

開所日時 平日(月～金) 9:30～12:00 13:00～17:00

閉所日 土・日・祝日及び12月29日～1月3日(年末年始)

tokyo-db@tokyo-db.or.jpのほか
http://www.tokyo-db.or.jp/からも
お問い合わせいただけます。



東京都盲ろう者支援センターは、東京都の委託事業として、
認定NPO法人東京盲ろう者友の会が運営しています。



アクセス

- 都営大江戸線「牛込神楽坂駅」……………2分
- 東京メトロ東西線「神楽坂駅」……………5分
- 東京メトロ有楽町線「飯田橋駅」……………7分
- JR中央・総武線「飯田橋駅」……………11分

総合相談支援事業

盲ろう児・者やそのご家族、支援者などからの相談を受け、情報提供や問題解決に向けた支援を行います。

盲ろう児支援事業

盲ろう児やその家族の交流会の開催、盲ろう児の子育てや意思疎通方法などに関する個別相談を実施します。

通訳・介助者派遣事業

利用登録を行った盲ろう児・者に、必要な研修を受けた通訳・介助者を派遣し、移動やコミュニケーションを支援します。

訓練事業

盲ろう児・者が自立して生活できるよう、必要な技術や知識を学ぶための訓練を実施します。

多摩地域出張相談・訓練

多摩地域にお住まいの盲ろう児・者を対象に、個別の相談や訓練、集団での学習会を実施します。

通訳・介助者養成研修事業

通訳・介助者を養成するための講習会や現任の通訳・介助者のスキルアップのための研修会を開催します。

社会参加促進事業

盲ろう児・者の社会参加を促進するために、交流会、学習会、サークルなどを開催します。

専門人材養成事業

盲ろう児・者の支援方法の理解を促進するため、行政職員や相談員、教員などを対象に研修を実施します。

広報・啓発事業

盲ろう児・者の存在や支援方法、支援制度などをWebサイトや動画、パンフレットなどで、広く社会に周知します。

盲ろうとは

目(視覚)と耳(聴覚)の両方に障害を併せ持つ盲ろう者は、日本全国に1万4,000人ほどと推計されています。情報入手・コミュニケーション・移動など、さまざまな場面で困難が生じるため、「視覚障害」や「聴覚障害」といった単一障害に対する支援のみならず、「盲ろう」という障害の独自性に応じた支援が必要です。

■ 盲ろうの障害の状態・程度

「盲ろう」の障害の状態や程度は見え方と聞こえ方の組み合わせによって

- ① 全く見えず聞こえない状態の「全盲ろう」
- ② 見えにくく聞こえない状態の「弱視ろう」
- ③ 全く見えず聞こえにくい状態の「全盲難聴」
- ④ 見えにくく聞こえにくい状態の「弱視難聴」

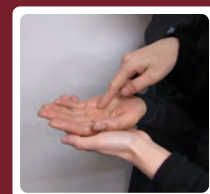
という4つのタイプに大別されます。

	聞こえない		聞こえにくい	
	全盲ろう	全盲難聴	弱視ろう	弱視難聴
見えない				
見えにくい				

■ 盲ろう児・者のコミュニケーション方法

盲ろう児・者それぞれが使用するコミュニケーション方法は障害の状態や盲ろうになるまでの経緯により異なります。

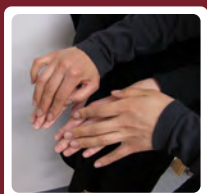
使用する感覚	手話をもとに		指文字をもとに	点字をもとに	文字をもとに	音声をもとに
	触る	触手話	ローマ字式指文字	指点字 点字筆記	手書き文字	
	触る・見る		日本語式指文字			
	見る	弱視手話			文字筆記 (筆談)	
	聞く					音声



手書き文字



触手話



指点字

東京都盲ろう者支援センターは、 盲ろう児・者の総合的な支援拠点です。

通訳・介助者派遣事業

通訳・介助者派遣事業の利用登録を行った盲ろう児・者に対して、登録通訳・介助者を派遣して、移動とコミュニケーションを支援します。通院、役所での手続き、買い物、レクリエーション、講演会、地域のサークル活動など、さまざまな場面で利用できます。

通訳・介助者養成研修事業

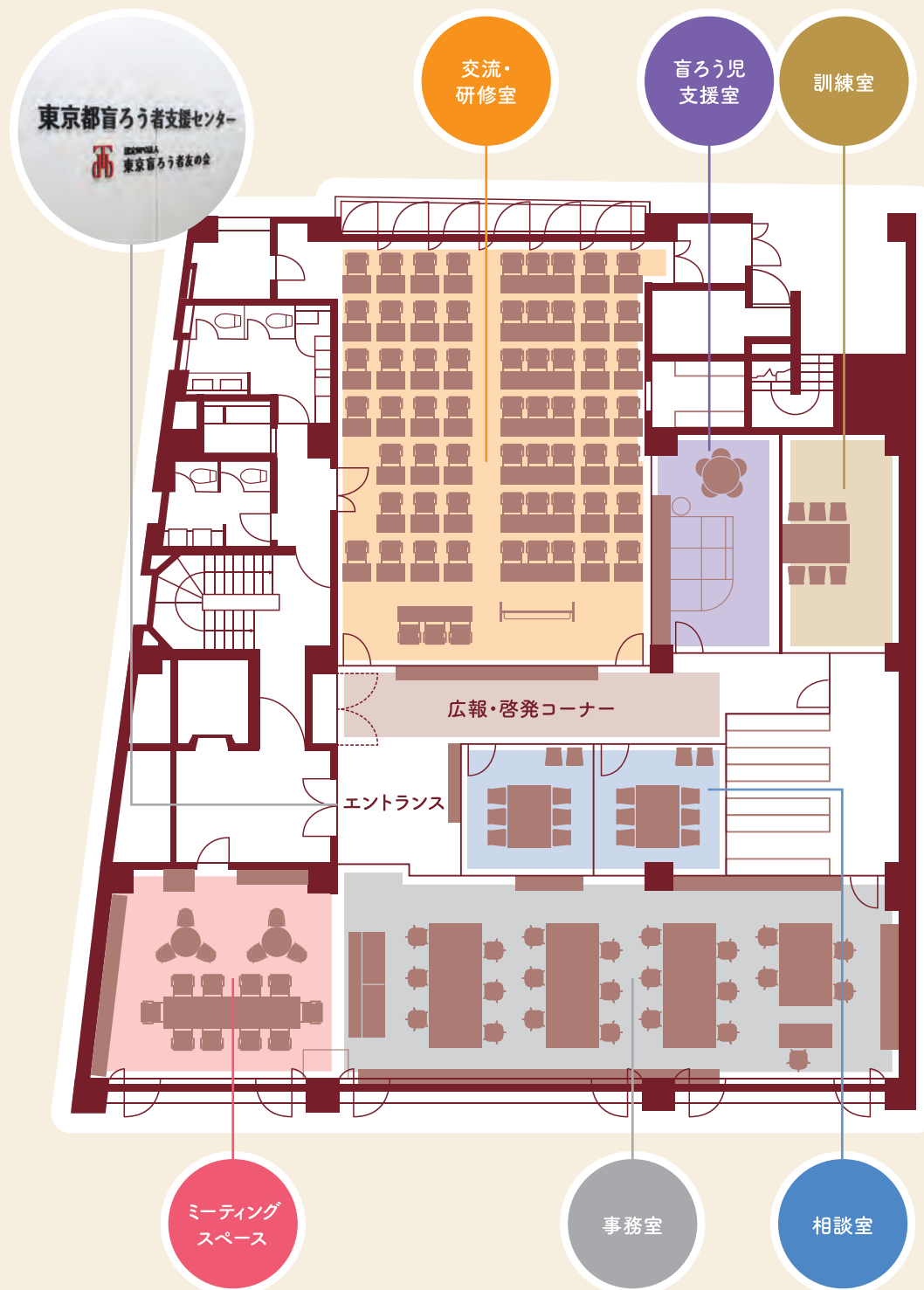
盲ろう児・者の移動とコミュニケーションの支援を担う「通訳・介助者」を養成する講習会を開催します。基本的な通訳・介助技術を学ぶ「必修科目」と、盲ろうに関する多様な知識やコミュニケーション方法を学ぶ「選択科目」があり、「必修科目」を修了することで「通訳・介助者」として登録・活動できます。登録した通訳・介助者のスキルアップのための研修会も開催しています。

訓練事業

◆ コミュニケーション訓練
触手話、指点字、手書き文字や、点字の読み書きなどを学びます。

◆ 生活訓練
身の周りのことや家事など、生活を送る上で必要な動作がスムーズにできるような技術を学びます。また、安心・安全に移動する方法や移動介助を受ける方法なども学びます。

◆ パソコン等電子機器活用訓練
点字ディスプレイ、画面拡大ソフト、画面読み上げソフトなどを活用したパソコン操作を学びます。また、スマートフォンやタブレット、拡大読書器などの活用方法なども学びます。



盲ろう児支援事業

- ◆ 盲ろう児に関する相談(毎週水曜日)
盲ろう児とその保護者の方、教育・療育・保育機関などから、盲ろう児の子育てやコミュニケーションなどに関する疑問や不安について相談を受け付けています。
- ◆ 盲ろう児と家族の交流(毎月第3土曜日)
盲ろう児が集い交流し、保護者同士が語りあう場を、月1回、設けています。さまざまな感覚を活用して楽しむことのできる遊具でお子さんを遊ばせながら、保護者同士で情報交換することができます。



総合相談支援事業

- 盲ろう児・者やそのご家族、通訳・介助者、行政、医療・保健機関、相談機関などの方からの相談を受け、情報提供や問題解決の支援を提供します。来所のほか、電話やFAX、電子メールなどでも相談を受けており、必要に応じて訪問による相談支援も行っています。
- ◆ 相談内容
 - ・日常生活に関する相談
 - ・コミュニケーション方法に関する相談
 - ・福祉サービスの利用に関する相談
 - ・福祉機器の活用に関する相談
 - ・教育・就労に関する相談
 - ・保健・医療に関する相談
 - ・文化・スポーツについての相談など

専門人材養成事業

- 盲ろう児・者のコミュニケーション方法や生活実態、支援方法などについて理解を深め、的確な福祉的支援や教育的支援を提供できる人材の養成を図る研修会を開催します。
- ◆ 実施内容
 - ・盲ろう者福祉ワーカー研修会
 - ・盲ろう者支援理解・啓発セミナー
 - ・盲ろう教育研修会

社会参加促進事業(交流会・サークル・学習会)

- ◆ 全体交流会(第3日曜日)
場所: 東京都障害者福祉会館(港区)
内容: 盲ろう児・者との交流、盲ろうについての学習、社会見学など
- ◆ 指点字サークル(第1・第3火曜日)
場所: 東京都盲ろう者支援センター
内容: 指点字や点字の練習と交流
- ◆ 三多摩サークル(第4土曜日)
場所: 多摩地域の公共施設など
内容: 盲ろう児・者との交流、コミュニケーションの学習、社会見学など
- ◆ 生活技術向上学習会
場所: 東京都盲ろう者支援センター
内容: 簾かご作り、ウォーキング、手織り、講演会など
- ◆ 歩む会(第2日曜日)
場所: 東京都障害者福祉会館(港区)
内容: ピアサポート

多摩地域出張相談・訓練(毎月第2火曜日)

- 多摩地域にお住まいの盲ろう児・者を対象に、多摩地域の公共施設などに出張して、相談支援や訓練、学習会を実施します。
- ◆ 相談
日常生活やコミュニケーション方法、福祉サービスの利用などに関する相談を行います。
 - ◆ 訓練
コミュニケーション訓練、生活訓練、パソコン等電子機器活用訓練を実施します。
 - ◆ 学習会
室内や屋外で、手指や身体を動かして参加できる集団学習会を開催します。